



令和6年4月19日

研修だより 9

「課題」について

小笠原康晃

笠小では、授業の流れとして「かるまふ」を大切にしています。

「か」は、課題のこと。

「る」は、笠小ループリックのこと。

「ま」は、まとめのこと。

「ふ」は、ふりかえりのこと。

課題とは、「1時間の授業の中で解決すべきこと」です。

本校では「子どもたちの思考力の向上」を目指し、「Why型」の課題を設定することに力を入れています。

しかし、いつも「Why型」の授業ができるわけではありません。

1つの単元という長い期間を見て、授業展開をしていくためには、しっかりと「知識・技能」を身に付けさせる時間も必要になります。

「今日の授業は、知識・技能の習得を目指そう。」

「明日の授業は、対話活動を多くして、思考場面を増やしていこう。」

単元内でメリハリをつけていくことが、思考力の向上に繋がります。

対話や協働の場面を生み出すためには、その下地となるものが必要になります。

それは、「知識・技能」のことです。